

「魅力のある街・青葉台」をメインテーマに 主役は「暮らすみなさん」

私たち自治会は、地域住民がより良い生活環境を目指し、環境・防災・防犯など、さまざまな地域課題に取り組みながら、地域づくりを進めている自主的な団体です。

災害時はもちろん、平常時においても



子どもや高齢者の見守り



町の美化や防犯活動



行政からの情報共有
行政などへの意見・要望の発信

など、地域に根ざした活動を行っています。

青葉台連合自治会
ホームページは
こちら



日頃からの人と人とのつながりを大切にする自治会の役割は、
今後ますます重要になっていくことでしょう。
今後も、ホームページ、回覧板、掲示板などを通じて、地域の情報を発信してまいります。



編集後記

現UR青葉台団地は、青葉台駅開業翌年の1967年8月に建てられ、3棟ある団地に約210の世帯。今年1月に、横浜市都市整備局、東急株式会社、UR都市機構による、まちづくりの連携協定を締結、新たなまちづくりの検討開始となりました。

ちょうど10年前にここへ引っ越しして、とても暮らしやすく、自治会長は6年目。

中庭の花壇を手入れしてくださる園芸部の方はすてきなバラを育てていたり、見晴らしの良い屋上で物干したり、昭和の良き時代そのまま残っている場。数年後の引っ越し先も青葉台に決めており、今後もこの青葉台の魅力をお伝えしてまいります。

青葉台団地自治会 会長 宮沢

新広報部発行の第3号を制作するにあたり、青葉台にお住まいの役員の方々から、さまざまな歴史的背景についてお話を伺い、写真をお借りすることもできました。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

青葉台での暮らしは、こうした地域活動を支える方々によって成り立っています。

一人ひとりが地域と関わり合い、このユニークな地域資源を子どもたちへと受け継いでいくことが大切。その第一歩として、ちょっとしたご近所ごとから始めてみませんか？

また、私たちのまちで面白いと思ったこと、気になってしかたないこと、などなど引き続き、みなさまからの声を募集中です。

桜台ビレジ自治会 会長 吉田



青葉台の記憶 1960年代

1966年
東急田園都市線開通当時の青葉台駅と駅前通り



②とうよこ沿線
③とうよこ沿線
2年後の1969年
青葉台駅前から駅前通りと246号線方面を望む。
駅前通りに薬屋さん、花屋さんなどが出店



青葉台連合自治会ニュース

青葉台連合自治会は23の単位自治会(約1万1千世帯)からなる青葉区で2番目に大きな連合自治会です

青葉台連合自治会 会長
小池 康喜
(青葉台二丁目自治会 会長)



青葉台地域の皆さんへ

こんにちは。このたび、青葉台連合自治会 会長を拝命いたしました、小池でございます。
日頃より、自治会活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
さて、私たちの地域におきましても、少子高齢化や防災・防犯など、さまざまな課題を抱えております。

この南北に広がる青葉台連合自治会のもと、『魅力ある街・青葉台』を目指し、安全・安心で、より住みよい地域を築いていくためには、皆さん一人ひとりの積極的なご参加とご協力が不可欠です。

長年継続してきた「環境浄化活動」や「青葉区民まつり」への出店、年末恒例の「桜台公園焼き芋会」なども、引き続き実施してまいります。ぜひご参加ください。

私自身も1970年代から青葉台に暮らしてまいりました。経営者として多忙な日々を送っていましたが、自治会活動に携わる中で副会長を務め、ご近所の皆さんと声をかけ合い、助け合いの輪が広がっていくのを実感いたしました。

会社を引退後、会長職を引き継ぎ、今年度で青葉台二丁目会長として22年目となります。
今後も皆さんと力を合わせ、よりよい地域づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

わたしたちのまち紹介リレー

今号は

PICK UP

青葉台二丁目自治会

子育て世代にもやさしい街・青葉台二丁目のご紹介

青葉台二丁目は、青葉台駅の東側にあり、通勤やお買い物に便利な立地にあります。駅前には商業施設や飲食店が立ち並び、にぎやかさと便利さがちょうどよく感じられるエリアです。一歩住宅街に入ると、静かで落ち着いた雰囲気が広がり、緑も多く、自然と暮らしが調和した街です。

中でも「青葉台第二公園」は、赤いすべり台付き複合遊具があり、子どもたちに人気。ベンチやテーブルもあるので、お弁当を持ってピクニック気分♪春には桜が満開になり、お花見も楽しめます。地域のつながりも大切にしていて、毎月「公園清掃会」を開催。地域の中で自然と顔見知りが増えています。

また、毎年夏に開催される「納涼大会」は、子どもたちが楽しみにしている一大イベント。

今年は8月24日(日)開催予定。御神輿登場時には、近隣のみんなにも多くのご協力をいただき、感謝申し上げます。他、模擬店などもあり、楽しんでいただけます。ぜひ遊びにいらしてください。

詳しくは掲示ポスターなどでご確認を!



青葉台二丁目 DATA

人口
5,323人

世帯数
2,400世帯



2025年度 役員紹介

会長 小池 康喜 青葉台二丁目自治会 会長

副会長 下山 和洋 しらとり台自治会 会長

会計 安東 尚子 若草台自治会

監事 三部 昭 しらとり台自治会

副会長 森 和夫 桜台成合自治会 会長

総務 小坂 健太郎 若草台自治会 会長

監事 大塚 真 榎が丘東自治会 会長

この地で生まれ、 育ち、そしてつなげる

青葉台連合自治会の副会長を務める森さんと下山さん。実はお二人は、田奈小学校から田奈中学校（1964年卒業）までを共に過ごした同級生です。当時の青葉台は、まだ港北区に属しており、周囲のほとんどが農村地帯でした。東急田園都市線はまだ開通しておらず、地区画整理も始まっていません。山道のような細い道が多く、雨が降るとすぐにぬかるみに変わってしまう中、下山さんは徒歩で約30分、森さんは約50分かけて通学していたそうです。

森さんの父・森善助さんは、この地域に深く根ざした人物で、初代青葉台地区連合自治会長や横浜緑ロータリークラブ初代会長、青葉消防団など、数多くの地域活動に尽力されてきました。

この頃は、地縁によるつながりが非常に強く、冠婚葬祭や共同作業などを通じて、地域の中で自然に役割を果たしていく文化が根づいていました。しかし、1966年に東急田園都市線が開通したことを機に、急速な人口増加が始まり、住民同士のつながりは徐々に少なくなっていました。

「おたがいさま」で助け合うまちへ

は田奈農業協同組合の常務理事、森さんは成合支部長を務めた後、令和元年からは共に青葉台連合自治会の副会長として地域活動に尽力されています。

夏まつりや、防災訓練、地域清掃など、日々の暮らしの中で人ととのつながりを大切にしてきました。

森さんはこう語ります。

「なんてことない世間話から助け合いが生まれる。地域の集まりは、ご近所同士で連れ立って気軽に来られるような、そんなものであってほしいですね。」

一方、下山さんは

「地域の役を担っていくことで、多くの方々とより近く感じられるようになった。この地域の土台を大切にし、次の世代の担い手を育てていきたい。」と話します。

そして最後に、互いをこう評します。

下山さん「和夫は、理知的な人」

森さん「下山は、押し切る力がある人」

長年にわたる信頼関係がじみ出る、あたたかい言葉。お二人の活動の原点には、子ども時代の原風景や原体験がしっかりと結びついているようです。



副会長 下山 和洋
(しらとり台自治会 会長)



副会長 森 和夫
(桜台成合自治会 会長)

わたくしのまちをきれいに!

環境浄化活動

青葉台は「四季を通じて緑と太陽の豊かな街に」を目指して開発され

四季折々の自然と美しい街並みが特徴。

公園も多く、四季折々の自然が楽しめるまち。



毎月 第2火曜日 15:00~

8月と1月はお休み・天候などにより中止の際はホームページで告知

今後のスケジュール 6/10 7/8 9/9 10/14 11/11 12/9 2/10 3/3

毎回、100名以上のご参加で草取りやごみ拾いなどの清掃を行っています。

青葉台連合自治会 文化体育部

7/21 MON 9:00 夏季スポーツ大会

11/9 SUN 9:00 グランドゴルフ大会

2026 2/15 SUN 9:00 春季スポーツ大会

各大会はさつきが丘小学校（さつきが丘）
グラウンドおよび体育館にて開催

みんなで一緒に!



フレーバー!

年間スケジュールは
こちら

